

上：石徹白の往還道「かまつち道」付近から見た西在所集落（昭和34年頃）

〔写真出典：上村俊邦著『いとしろに暮した人たち』〕

下：同じ場所から見た西在所集落（現在）〔写真提供：郡上市〕

石徹白地区の下在所から上在所へ向かう往還道（主要な街道）の一部に「かまつち道」と通称された道がありました。急な傾斜であったため、後に「かまつち道」の手前から東側に迂回する緩やかな傾斜の新道が設けられました。

この写真は、「かまつち道」から西在所を眺めるように撮影した写真です。写真の中の道の手前側が、ちょうど往還道が「かまつち道」と新道に分岐するあたりです。

かつて白山信仰が盛んであった頃、美濃馬場・白山本地中宮長滝寺を發した人々が、石徹白の白山中居神社、あるいは銚子ヶ峰～別山、白山へとたどった際に、歩いたであろう道。

平成5～6年の圃場整備により、姿を消した道です。